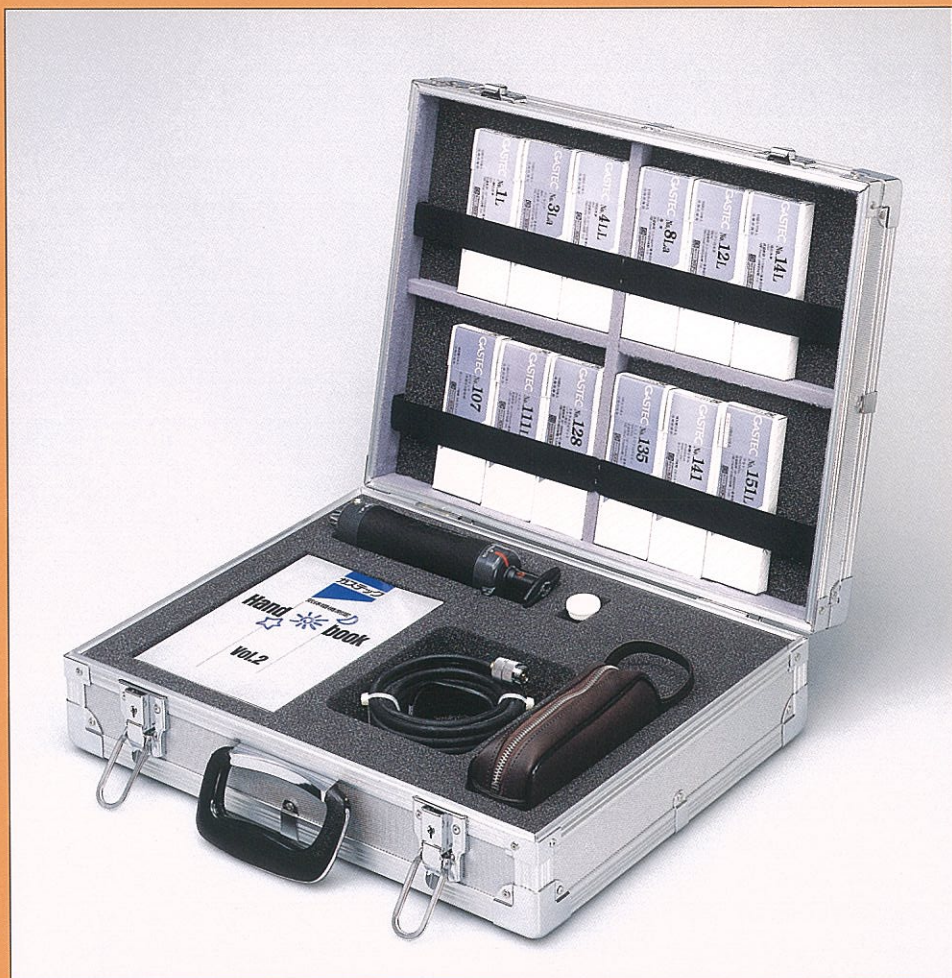


ガステック

有害ガス判定キット

TG-I

未知ガスの情報をすばやく判定



科学技術の発展に伴い、各種有害ガスが生活や作業環境に多大な影響を及ぼし、時として重大な災害を発生させます。工程管理・労働衛生管理・産業安全管理・大気汚染物質の発生源管理等、あらゆる分野で有害ガスによる緊急事態発生時には、そのガスの情報を迅速に確認し、それにもとづいて対応することが、災害の拡大や二次災害を防止する上で必要です。TG-I キットは12種類の固有の反応をもった検知管を、マトリックスに従って使用することで、有害ガス名を総合的に判定し濃度を測定するための簡易測定キットです。誰でも現場で簡単・迅速・正確に測定結果が分かり、緊急事態発生時にすばやく対応することができます。

未知のガスを12種類の検知管ですばやく定性判定

- 特殊な技術、知識、熟練を必要としません。どなたでも判定できます。
- 簡単操作。電気・機械的な操作は不要です。
- 1測定1～4分。緊急時に迅速に対応可能。
- 電源不用で測定場所を選びません。さらに現場で結果判定可能。
- イニシャルコスト・ランニングコストが安価。メンテナンス不用。

測定手順

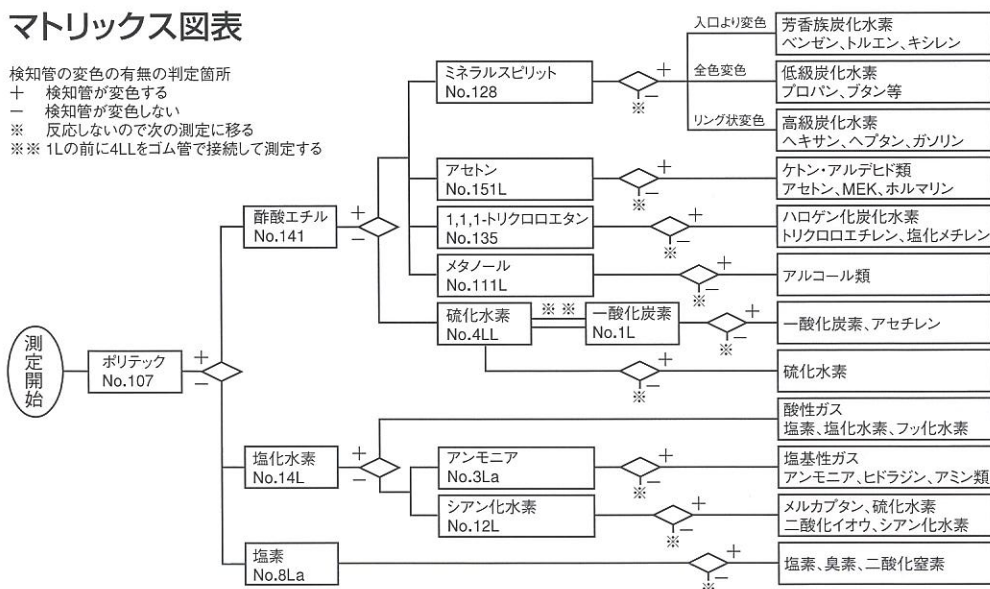
- 1 気流のチェック** ・スモークテストを使って気流のチェック
- 2 検知管で測定開始** ・未知ガス定性用検知管ポリテックNo.107を使用して測定開始
(延長採取管No.350Aで遠隔測定も可能)
- 3 図表の判定に従い
順次測定** ・マトリックス図表の判定に従い
検知管で順次測定
- 4 判定** ・ガス名確認 ・存在しない ・検知限度以下



マトリックス図表

検知管の変色の有無の判定箇所

- ＋ 検知管が変色する
- － 検知管が変色しない
- ※ 反応しないので次の測定に移る
- ※※ 1Lの前に4LLをゴム管で接続して測定する



1. ポリテック検知管No.107で判定が(－)の場合、塩化水素、塩素について順次測定します。塩素で(＋)の場合、塩素、臭素、二酸化窒素の全部又は一部が存在することになります。同様に塩化水素についても測定をします。判定箇所(－)の場合は、(＋)側の測定をする必要がありません。
2. ポリテック検知管No.107で判定が(＋)の場合、酢酸エチル、塩化水素、塩素について順次測定をします。このように判定箇所(＋)の場合は、(＋)、(－)両側について測定をする必要があります。
3. 判定が(－)でマトリックス図表上行き止まりの場合は、その検知管に反応するガスが存在しないか、または検知限度以下であると判定できます。右端の枠内のガスが最終判定ガスです。

キットの構成

気体採取器 GV-100 1台
 検知管12種類 各1箱
 No.107、No.141、No.14L、No.8La、No.128、
 No.151L、No.135、No.111L、No.4LL、No.1L、
 No.3La、No.12L
 延長採取管(5m) No.350A 1本
 接続ゴム管 5個/袋
 Handbook 1冊
 スモークテストセット No.500 1式
 アルミケース 1個
 寸法・重量 46.5(W)×13.8(D)×37.3(H)・5kg

※検知管は上記を含め約300種類ございます。



●ご使用前に取扱説明書を良くお読み下さい。●性能向上のため、仕様をお断りなく変更することがございます。●商品の色は、印刷物のため実際と異なる場合がございます。●再生紙を使用しています。

このカタログ内容は、2002年3月現在です。

あらゆる気体の測定に



株式会社 **ガステック**

SINCE 1970

営業本部: 〒252-1195 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-6
 電話0467(79)3911(代) Fax.0467(79)3979
 西日本営業所: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14新大阪グランドビル
 電話06(6396)1041 Fax.06(6396)1043
 九州営業所: 〒803-0843 北九州市小倉北区金鶏町9-27第一岡部ビル
 電話093(652)6665 Fax.093(652)6696
 ホームページアドレス: <http://www.gastec.co.jp/>

CASTTG1J1 02C2H(M)